

平成12年9月  
 大山崎クラブ  
 山本孝 956-0039  
 北村元一 956-5705  
 小泉興洋 957-2212  
 前川光 953-2436

大山崎クラブとは大山崎町議会の中の会派です。  
 今回 議会のこと、行政のこと を少しでも住民の皆様にお知らせするため発行させていただきました。  
 今後も気軽にご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

# 地下水を守るためにも 府営水道は必要！！

## 地下水には限界があります

大山崎町の地下水揚水量(上水道・企業)は13,401 t/日で適正揚水量(8,000 t/日)を越える汲み上げを続けています。このため水位の低下や、水質の悪化が生じる結果となつています。地下水は一旦汚染されると、その浄化に多額の費用と時間を要することや水不足時、地盤沈下を考えると府営水道の導入による複数水源の確保は必要不可欠です。

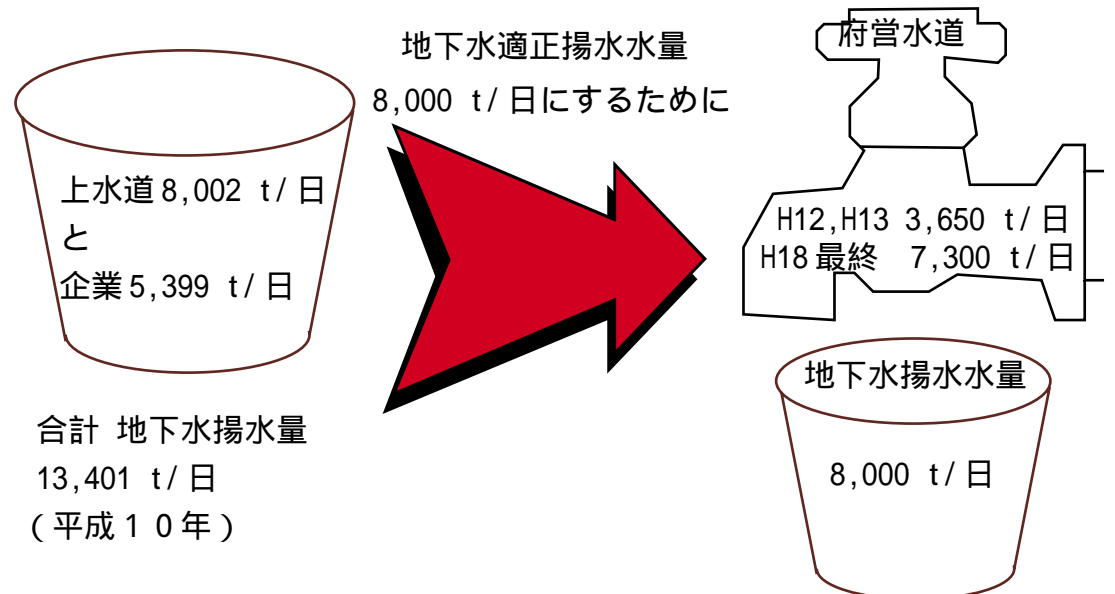
従来からの地下水全面依存から、地下水保全のために転換することを一つの目的として、「安全な水を安定供給」する必要があります。

現在 9本の取水井戸で賄っています。町の地形が西高東低になつていくことから、西部(山手)に位置する第三浄水場系の取水井戸では、水位の低下が進行しており、現在までに枯渇して廃止せざるを得なかった井戸も9本を数える。また、この系統の取水井戸では、水位の低下につれて、鉄、マンガン、フミン質(地層中の植物などの層からでる有機質)の含有量が多くなつてきており、塩素消毒とあわせて凝集剤が使用されています。また、当町の東部に位置する第二浄水場・新第二浄水場系の取水井戸では、低地で河川に近いことから比較的水

### 水質の悪化を防ぐ必要がある

位置が安定しており、鉄、マンガンなどの水処理障害物質の含有量は、第三浄水場系に比べ少なくなっているが、年々鉄、マンガンの含有量が増加している。また、地下水位が高く比較的地表に近い帯水層より採取しているため地表の汚染等の影響を受けやすい傾向がある。(昭和56、57年に水銀汚染事故)

地下水 水質傾向として、水道水栓器具の腐食を早める浸食性遊離炭酸が少し多めであり、PH 値については厚生省の指針である「おいしい水の要件」等と比較しても、若干低めで水栓器具の腐食防止対策もかねてPH調整が必要である。



# 二本立てで将来にわたって安定した水源確保する！！

府営水道導入後の水道事業経営は一段と厳しいものになることが予想できます。H12年10月から導入 H13年度末では、現在の料金据え置きの場合、約1億3000万円の赤字になる予想です。私どもはより一層の経費節減につとめるとともに住民の皆さんの負担のありかたについて、十分理解の得られるよう行政に訴えていきます。

水質項目	美味しい水の水質要件		乙訓浄水場 (府営水道)	大山崎町 地下水
	水質基準	説明		
蒸発残留物	30 ~ 200 mg / l	主にミネラルの含有量を示し 100 mg / l ぐらいが好まれる	90	242
遊離炭酸	3 ~ 30 mg / l	水に溶けこんでいる炭酸ガス	4	65
残留塩素	0.4 mg / l 以下	水にカルキ臭を与える	0.7	1.0